B08 1997 年以降に経験したマダニ人体寄生 29 例

○米田 豊, 福岡 利英 (久留米大学医学部寄生虫学講座)

Twenty-nine human cases infested with ixodid ticks since 1997

Yoneda, Y., Fukuma, T.

起因種は9種で、各症例数はタカサゴキララマダニ、フタトゲチマダニ、キチマダニ、カモシカマダニそれぞれ14, 5, 3, 2, そしてオオトゲチマダニ、ヒトツトゲマダニ、ヤマトマダニ、タネガタマダニ、*Ixodes holocyclus* 各1例であった。データ無しを除く28例では患者年齢は6~84歳で、50~60歳代が多く、性別では男性10例女性18例で、発生時期は3~10月(*I. holocyclus*は12月)で、4~6月に多かった。特筆症例は九州での報告が稀なカモシカマダニ(51歳の陰囊と19歳女性のふくらはぎ)とヒトツトゲマダニ(59歳女性の肩)、東京都下の電車内での寄生が考えられたオオトゲチマダニ(50歳女性の耳介)、住宅地での単為生殖系フタトゲチマダニ(43歳女性の全身に多数一既報告)、タカサゴキララマダニのほぼ飽血状態の雌(75歳女性の大腿部)と同若虫の亀頭寄生(61歳)、オーストラリアへの修学旅行後に発見された*I. holocyclus*(17歳男性の頭部に3匹、室内放置で産卵)であった。

B09 宮崎県内の1地域におけるヘビ類寄生マダニに関する調査○鈴木 泉¹, 山本 正悟¹, 塩山 陽子¹, 藤田 博己² (¹宮崎県衛生環境研究所, ²大原総合病院附属大原研究所)

Survey of Ixodid ticks infested on the snakes in Miyazaki Prefecture

Suzuki, S., Yamamoto, S., Shioyama, Y., Fujita, H.

陸生ヘビ類へのマダニ寄生例に関する報告は少ない。そこで、宮崎県宮崎市内の1地域(K 溪谷)でヘビ類を捕獲し、その種類と寄生マダニについて調査した。ヘビ類捕獲時に触診法と視診法でマダニ寄生が確認された場合には、飽血までヘビ類を飼育してマダニを採取した。また、マダニ付着を認めない場合も、許される範囲で約2週間飼育し、寄生の有無を確認した。

調査地域ではシマヘビ、ヤマカガシ、アオダイショウを主体に7種類のヘビの棲息が観察されている。今回、ヤマカガシ、マムシ、アオダイショウでマダニ寄生が認められたが、寄生種はタカサゴキララマダニ若虫のみで、成虫や幼虫の寄生は確認されなかった。また、フラッグスweep法で行なった同地域のマダニ相の調査では、チマダニ属が優勢で、タカサゴキララマダニの採取例は希であった。

以上の結果から、ヘビがタカサゴキララマダニの生活環の中の一部に含まれていること、ヘビ捕獲法がマダニ相の調査に有用なことが示された。